

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		こごっと。城東		公表日 2026年3月31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	職員の目が行き届きやすいスペースと感じる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2		特性により、職員数が足りないと感じる日もある。職員の体調不良等で職員の数が必要な時もある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	色分けがされていて目で見てわかりやすい。	職員の人数や子どもたちの様子によって環境配慮が出来ない事もある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	職員に余裕がある時にはなるが、環境や特性に合わせて学習室を使える所が良い点と考える。時と場合、目的に応じて使い分けている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	3		人による。職員個人による。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	朝礼終礼、安全会議、面談等で全職員の意見を聞き、すぐ対応できるものは対応している。役職者に伝えやすい環境である。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	受けられない職員がいてもしっかりと共有される点。本部メインで行っている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	役職者だけでなく、どの職員も協力して作成に携わってくれる点。全員の意見を聞くようにしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	計画書が新しくなった際には、職員が内容を把握できるよう、全体共有に上げている。モニタリング後全員に内容周知をしている。	職員個人による。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	全員で介入し話し合っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	集団で遊ぶ場に声掛けをして誘う、別の活動の提案などされていると思う。 様々な意見を取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	イベントや個別療育などに分け、支援をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	担当者たちが話し合い実施している。	打ち合わせの時間を作るのが難しい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	気になった点や、聞いたことをしっかり共有していただいている。話し合い結果報告や保護者伝達をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	数か月単位で利用がない子たちも、記録があることで検証などにつながっている。 リズムや療育記録をとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	必ず半年に1回はモニタリングを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	子どもが選択できるように日常から声掛けをしている。 サポートしすぎないよう職員の育成をしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	責任者、児発管が行って話し合いに参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	希望があれば。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	保護者を通じてすぐ対応している。	保護者を介して。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	希望があれば。	個人情報の為難しい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3	該当者はいないができるように準備をしている。	まだ例なし。個人情報の為難しい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4		個人情報の為難しい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6		安全面の観点から地域の子どもたちとの活動はしないようにしている。個人情報保護の為今のところ機会を設けていない。個人情報の為難しい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3	会社の担当者が参加している。	少ない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	様々なツールを使ったり送迎時に直接話している。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	参加型イベントの実施、モニタリングでのお伝え。	研修会までは出来ていないが情報共有などは出来ている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	負担額の発生・変更の際には都度説明をしている。事前に伝えた上で、質問があれば回答している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	安全に配慮した上で実施。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	モニタリング時に説明、不明点を確認した上で同意をいただいている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	リトムに書かれていることでも、グループで共有されており、適切な助言や支援が行えていると感じる。実施している。行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	1	イベントを年に数回行っている。イベントにて行っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	すぐに対応し、解決案を出し実施している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	イベントのブログなど発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	破棄する際には必ずシュレッダーにかけている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	より寄り添い、専門職員に聞いた情報から対応している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		地域住民を招待する等の行事は防犯上の観点から実施していない。もう何度か機会があっても良いと感じる。個人情報の為難しい。行っていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		出来ているが、家族への周知は甘い所あり。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	実施できているが職員が毎回全員参加は難しく議事録を残し対応している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	必ず契約時や初回利用時に確認している。している。	特に予防接種の有無などは把握しきれていない部分もあるように感じる。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	必ず契約時や初回利用時に確認している。	保護者から伝達を受けている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全管理、研修を実施し適切な行動ができるようにしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	月末に安全会議で振り返りを行っている。毎月その月のひやり共有、ひやり時に終礼で共有・対策検討し実施。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	職員のメンタルケア、虐待防止研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	説明の上で同意書をもらっており、他の方法を試した上で可か判断している。		